

ゼロからの復興

1946 ~ 1969

戦後の動物園はまるで遺跡の様でしたが、記録によれば1946年、飼育員が4名、動物が178点がいました。生き残っていたゾウやキリンは相次いで死にました。1951年、来園者を引き付ける仕掛けとして、動物公演や展示会などの動物ショーを始めました。展示会は市民グループと共同で維持され、また、犬、鳩、鶏、鳥が一時期販売されました。

段階的建設

幸いなことに、大量爆撃があったにもかかわらず、獣舎は（大きな）ダメージを受けませんでした。そのため、建設はいかに戦争前のように戻すのかという点に重点がおかれました。1953年、獣医室と正門が完成し、2年後には、たとえばサル山、アシカの池やクマ・エリアなどのように、フェンスのない飼育エリアが数か所作られました。主要な建物が作られた1967年当時、動物園はまだ再建途中でしたが、その時の職員は30名いました。

